

# 一般会計

# 平成29年度 町の決算

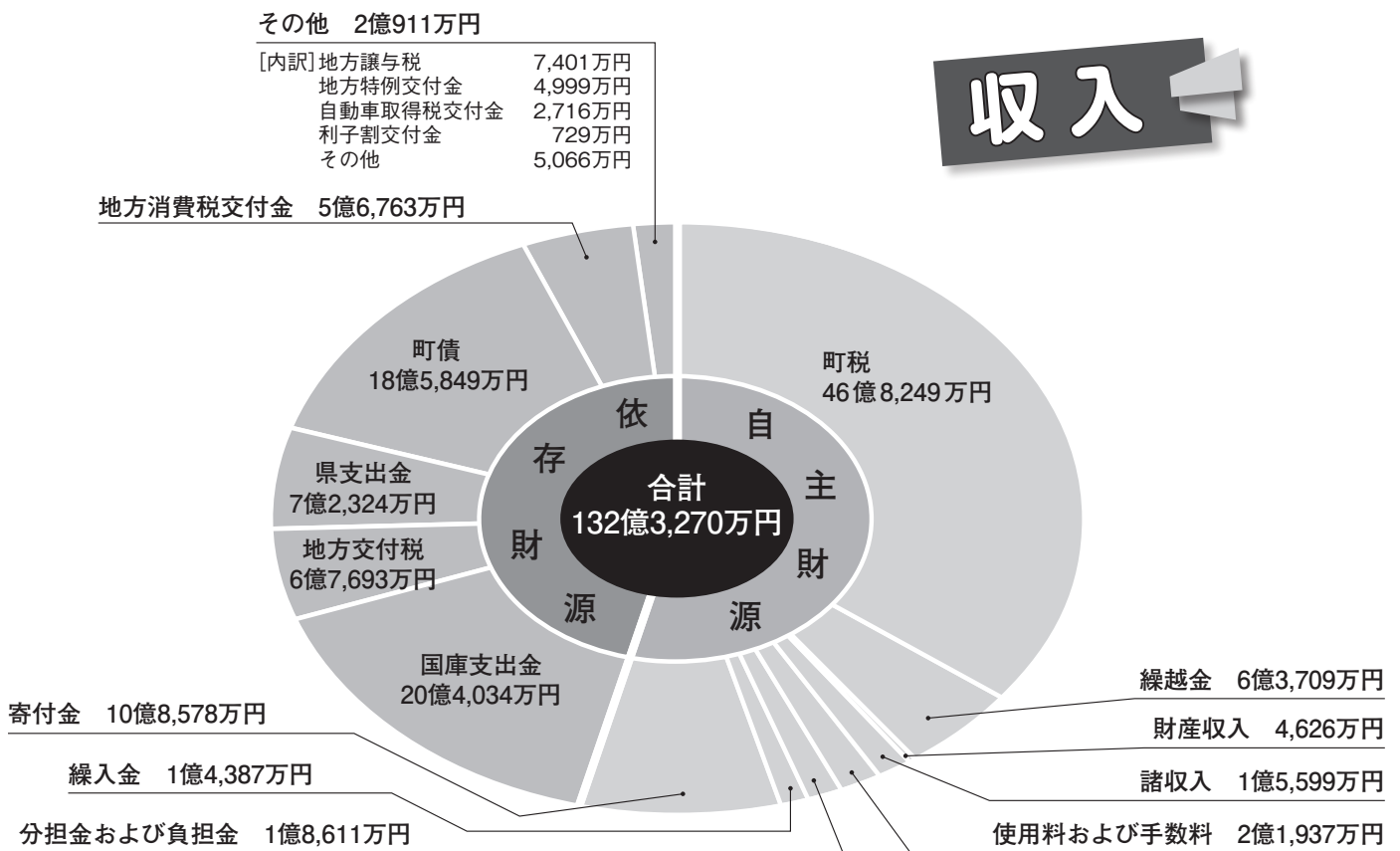
収入から支出を引いた額は、6億3,139万円の黒字です。このなかには、平成29年度中に完成しなかったため平成30年度に繰り越す事業に充てる収入も含まれています。その額を除いた実質収支は、3億4,666万円の黒字です。

みなさんが納めた税金や国からの交付金などの収入を、どのような目的で、いくら使ったかをお知らせします。

## ◇収入

収入は、平成28年度よりも17億3,186万円多くなりました。収入の内訳は、町税など町が主体的に収入できる自主財源が約54%、国や県からの交付金や町の借金である町債などの依存財源が約46%です。

## 収入



住民1人当たりの金額：合計40万5,153円

(平成30年3月末人口：3万2,661人)

町税	繰越金	財産収入	諸収入	使用料および手数料
14万3,366円	1万9,506円	1,416円	4,776円	6,717円
分担金および負担金	繰入金	寄附金	国庫支出金	地方交付税
5,698円	4,405円	3万3,244円	6万2,470円	2万726円
県支出金	町債	地方消費税交付金	依存財源その他	
2万2,144円	5万6,903円	1万7,380円	6,402円	

◇支出

支出は、平成28年度よりも17億3,757万円多くなりました。

目的別に見ると、総務費、民生費、土木費、教育費などが増え、衛生費、農林水産業費などが減っています。

総務費はふるさと納税事業委託料の支出などで1億5,010万円(対前年度比10.7%)増加、民生費は国民健康保険特別会計への繰出金を始めとする社会福祉費や障害者福祉・児童福祉関係扶助費などで2億8,449万円(対前年度比8.7%)増加、土木費は新宮ふれあいの丘公園造成事業費や新設

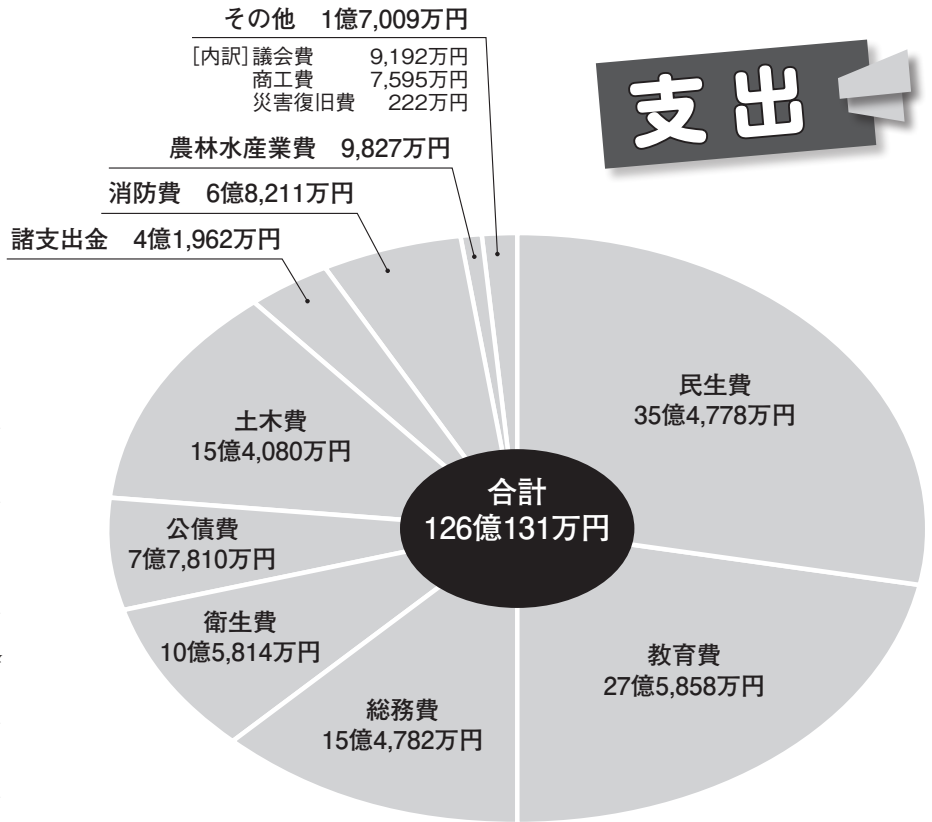
中学校周辺環境整備事業費などで4億2,980万円(対前年度比38.7%)増加、教育費は新設中学校新築事業などで6億2,186万円(対前年度比29.1%)増加しています。

一方、衛生費は玄界環境組合負担金の創設費などが減少したことから2,738万円(対前年度比2.5%)減少、農林水産業費は漁港機能保全計画策定委託料などが増加している一方で、活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金などが減少したことから1,660万円(対前年度比14.5%)減少しています。



平成29年度に実施した  
**主な事業**

- 新設中学校新築事業  
9億7,058万円
- 新宮ふれあいの丘公園造成事業  
3億7,893万円
- 防災行政無線(同報系)デジタル化整備事業  
2億1,600万円
- 新宮中学校給食室新設及び校舎等改修事業  
1億8,554万円
- 新設中学校造成事業  
7,444万円
- 神木線道路改良事業  
4,952万円
- 立花小学校校舎外壁・屋上防水改修事業  
4,416万円
- 小万崎～柳ヶ浦線道路拡幅事業  
4,292万円
- そぴあしんぐう屋上太陽光発電設備設置事業  
4,277万円
- 今池公園整備事業  
3,700万円



住民1人当たりの金額：**合計38万5,821円**

(平成30年3月末人口：3万2,661人)

民生費	教育費	総務費	衛生費
10万8,624円	8万4,461円	4万7,390円	3万2,398円
公債費	土木費	諸支出金	消防費
2万3,823円	4万7,176円	1万2,848円	2万885円
農林水産業費	議会費	商工費	災害復旧費
3,009円	2,814円	2,325円	68円

## 相島診療所事業特別会計

相島にある町立診療所を運営するための会計です。

収入 6,457万円

支出 6,311万円

○年間延べ患者数 = 2,660人

## 簡易水道事業特別会計

相島の水道事業を運営するための会計です。

収入 5,121万円

支出 5,073万円

○給水人口 = 265人

## 水道事業会計

相島を除く町の水道事業を運営するための会計です。水道事業会計は、地方公営企業法が適用されており、複式簿記が適用されるなど経理の方法が他の会計とは異なります。

収益的収入 7億5,801万円

収益的支出 6億4,855万円

資本的収入 2,804万円

資本的支出 2億5,578万円

○給水人口 = 3万2,208人

## 公共下水道事業特別会計

公共下水道事業を運営するための会計です。

平成30年度から地方公営企業法を適用するため、法適用日の前日(平成30年3月31日)をもって打切決算を行っています。

収入 12億4,069万円

支出 10億7,862万円

○処理区域面積 = 406 ha

## 相島漁業集落環境整備事業特別会計

相島の下水道事業を運営するための会計です。

収入 1,264万円

支出 1,193万円

# 特別会計

特別会計とは、特定の事業の内容や資金の運用状況をより分かりやすくするために、一般会計と分けて経理をする会計です。本町には、8つの特別会計と1つの事業会計があります。

## 渡船事業特別会計

新宮港と相島港の間を運航する渡船を運営するための会計です。

収入 1億3,555万円

支出 1億1,326万円

○年間乗客数 = 15万3,605人

○年間運航回数 = 1,996回

## 国民健康保険特別会計

国民健康保険制度を運営するための会計です。

収入 27億548万円

支出 26億9,716万円

○加入世帯数 = 2,987世帯

## 後期高齢者医療特別会計

75歳以上の人の医療制度を運営するための会計です。

収入 2億8,878万円

支出 2億8,567万円

○被保険者数 = 2,531人

## 住宅新築資金等貸付事業特別会計

住宅新築資金などを貸し付けるための会計です。現在は、新たな貸し付けを行っていないため、返済事務のみとなっています。

収入 112万円

支出 101万円

## 町 債

### ■町債現在高

会計名	平成28年度末	平成29年度末
一般会計	117億968万円	128億6,479万円
渡船事業特別会計	1億7,957万円	1億6,390万円
簡易水道事業特別会計	9,893万円	9,516万円
水道事業会計	17億8,832万円	16億7,238万円
公共下水道事業特別会計	55億3,489万円	54億9,375万円
相島漁業集落環境整備事業特別会計	4,078万円	3,925万円
合 計	193億5,217万円	203億2,923万円

町債とは、国や金融機関からの借金の中で、特定の事業を実施する場合に借り入れることが認められています。一般会計の新設中学校新築事業の財源としての町債の借入れが増えています。

## 基 金

### ■基金現在高

基金名	平成28年度末	平成29年度末
積立基金	31億7,697万円	34億3,573万円
財政調整基金	25億9,263万円	25億9,396万円
減債基金	3億7,726万円	3億7,664万円
災害対策基金	708万円	709万円
ふるさと応援基金	2億円	4億5,804万円
定額運用基金	1億4,390万円	1億4,390万円
土地開発基金	1億4,000万円	1億4,000万円
国民健康保険高額療養資金貸付基金	150万円	150万円
国民健康保険出産資金貸付基金	240万円	240万円
合 計	33億2,087万円	35億7,963万円

基金には、将来実施する事業の財源として積み立てる積立基金と、特定の事業を運営する資金となる定額運用基金の2つがあります。家庭での貯金に当たるものが、積立基金です。平成29年度は、ふるさと応援基金の積み立てで、基金が増えています。

## 財政健全化判断比率

財政健全化判断比率は、町の財政がどのような状況であるかを判断する比率です。

### ■健全化判断比率

(単位：%)

区 分	平成28年度	平成29年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	14.35	20.0
②連結実質赤字比率	—	—	19.35	30.0
③実質公債費比率	8.1	8.1	25.0	35.0
④将来負担比率	56.5	72.5	350.0	基準なし

※①普通会計(一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・相島診療所事業特別会計)の赤字の状況

②全会計の赤字と黒字を合算したときの町の赤字の状況

③町の財政規模に対して、町債の返済額がどれくらいあるかを表すもの

④町の財政規模に対して、町債など現在町が抱えている負債がどれくらいあるかを表すもの

※①、②は全会計に赤字がないため「-」で表しています。

## 資金不足比率

会 計 名	平成28年度	平成29年度
水 道 事 業 会 計	—	—
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	—	—
渡 船 事 業 特 別 会 計	—	—
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	—	—
相島漁業集落環境整備事業特別会計	—	—

利用料金で運営する特別会計の経営状況を判断する比率です。全会計に資金の不足がないため「-」で表しています。